

幸せについて

2月3日(土) 奈半利中学校ならではの行事「三者会」が行われました。生徒、保護者、教職員が対等に意見を交換し合うことを趣旨とし、今回は、「ジェンダー平等」「あいさつ」「学校生活」「家庭学習」について議論しました。お互いの考えを知り、要求し、方向性を協議し、行動する。このサイクルを回していく過程で、三者が発言の重さや、実現への覚悟を自覚し、良い学校づくりのため協力する。そんな奈半利中学校を目指していきましょう！

ひとつだけ望みがかなうなら

一つだけ望みがかなうなら、あなたは何を望みますか？プロ野球選手になること？第一志望の高校に入ること？お金持ちになること？ゲームをして暮らすこと？今あげた例がなかったとしても、幸せになれるとは限りません。望みをかなえるのは幸せになるためですよね。幸せになればこの人生は大成功ではないでしょうか。

同じ失敗を繰り返す
自分を許してあげよう。
同じ課題が何度でもやってくるのは、学び切っていないから
学び切って成長すれば、課題は消える

幸せは人が決めるものではありません。自分を幸せ者だと認められれば、幸せになります。自分を認め、許し、可愛がり、信じて、自分の機嫌を取るんです。自分の応援団長になりましょう。足りない所も、ダメなところも笑い飛ばして「これがワタシなんだよね。ウケるー」と自分を認めてあげましょう。

自分を「推し」にして、応援団長になる
自分を認め、許し、かわいがり
自分を信じて、自分の機嫌をとる
今、幸せになり、自信がつき、やる気が出る

「私はマダマダ病」にかかり「もっともとのワナ」にはまると幸せから遠ざかります。

いつまでたっても、自信がつかない
もっとよい成果でない
認められない
他人と比べてまだまだ認められない

もっともとのワナ

自信も、幸せも
今
手に入れよう

一番大事なことは幸せになること。幸せには今！なることが大事です。

と私は思っています。

幸せになること

プロ野球選手になりたい
イラストレーターになりたい
介助の職業に就きたい
お金持ちになりたい
夢をかなえたい
(今はない人も)

幸せにはいつなる？

幸せになるのは、どれくらい努力した後でしょうか？どれほどの結果を出した後でしょうか？何人に認められればなるのでしょうか？今、幸せに気づくことで、今幸せになることも可能です。

幸せには、早くならう！

ごきげんになる
自分に自信が持てる
自由な時間がある
自分の楽しみを持っている
感謝を味わえる

幸せはだれが決める？

ジェンダー問題と LGBTQ+ 問題

ジェンダーとは社会的な性差のことで、男らしさ、女らしさなどを強制されることにより社会的に不利な状況におかれることをジェンダー問題と言います。制服で言えば、女子だからという理由で動きにくく寒いスカートの強要することはジェンダー問題と言えるでしょう。

LGBTQ+とは性的少数者を示す言葉で、一般的に言われる男性、女性のほかに多様な性があり、性的指向、性自認、性表現のあり方は一つではないことを教えてくれます。LGBTQ+の方たちが暮らしにくい社会制度や、理解のない人々の性差別意識などをLGBTQ+問題と言います。制服で言えば、大久保先生のように自分を男性と自認している人に対し、女性に生まれたからという理由でスカートを強要することは、LGBTQ+問題と言えそうです。

幸せは、自分でしか決められない！

自分を認めている
自分に自信が持てる
自由な時間がある
仲間がいる
感謝を味わえる
場所も場所と考える
時間を忘れて好きなことをしている
幸せって、人に見える？

奈半利中学校ホームページ開設「奈半利中学校 ピカラ」で検索

奈半利中学校公式ホームページがリニューアルオープンしました。パソコンでもスマホでも閲覧できます。サーバー移行の関係で「ピカラ」と検索ワードに追加する必要があります。スマホではトップページの学校名と正門写真の間にあるサブメニューのボタンをクリックしてご覧ください。学校だより、校長室だよりも掲載中です。